

山陰教区 キッズサンガ通信



Vol.8 2018.12.20

発行:山陰教区教務所 〒690-0002 松江市大正町443-1 TEL(0852)21-4747 FAX(0852)27-8351 発行者:高橋格昭 企画・編集:山陰教区 子ども・若者ご縁づくり推進委員会

キッズサンガサポーター研修会に参加して

益田組 興順寺 佐々木義誓

10月15日、前年度に引き続き古川潤哉師をお招きし山陰教堂にて開催された、キッズサンガサポーター研修会に参加させて頂きました。

前年度の研修会にも参加致しましたが、もう一度お話をお聞きしてみたいと思っておりましてので続いての登壇は有り難いご縁でした。講演の内容は思春期の子どもとの接し方から性の多様化など多岐にわたり、難しい問題でもあるのですが古川先生の語り口調のお陰でこの度も大変興味深く拝聴させて頂きました。



現代を生きる私達は科学の発達などの恩恵を受けて、昔では考えられないような便利な世の中で生活しています。しかしながら、便利なことは時に簡略化、わかりやすさが優先されてしまい都合のいいもの、居心地のいいものがもてはやされる風潮が強くなってきているような気がします。この都合のいい、居心地のいいが当たり前になると、いつの間にか自分中心の枠が出来てしまい、私達は無意識のうちに自分の手垢がびっしりとついた枠を他人に押し付けてしまうのではないのでしょうか。

誰かが経験する思春期の悶々とした感情や多様化していく性の問題も、一人ひとりが抱える問題だからこそ自分本意の便利に簡略化された枠に収めることは難しいはず。今回の講演をお聞きして、無理に自分本意の枠に収めようとする問題、それが問題にもならず無意識に押し付けているこの私自身が一番の問題点だと感じました。

いつの間にか凝り固まってしまった私の視点が広がる、自分自身を気付かされる感覚はお聴聞と似ていると思いました。そして、一人ひとりをそのまま捉め取ると誓われた阿彌陀さまのご本願の有難さを改めて感じております。

時代に即し多様化のはずが、単純な二分化傾向が強くなる現代社会において、現代だからこそその仏教的な視点をもった方が宗門内におられることを心強く感じました。



2017(平成29)年度子ども・若者ご縁づくり(キッズサンガ)実施報告 ※抜粋

昨年度の各組・各寺院の子ども・若者ご縁づくり(キッズサンガ)の状況について、組長様にご報告のお願いをさせていただきました。組長様をはじめ、組サポーターの皆様、ご寺院の皆様にご協力をいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

子どもへの取り組み ～キッズサンガをさらに

- 組で**
- 【法要】
 - 組主催の子ども報恩講
 - 【日常の法務】
 - 組内全寺院で「食前・食後の言葉」カードを門信徒に配布し奨励している
 - 【行事・イベント】
 - 組で、子ども・若者ご縁づくり「ほとけの子どもサマースクール」を開催
 - 組でサマースクール開催～仏参・法話・記念撮影・紙芝居・ゲームなどお斎は野菜カレー(精進)
 - 組でサマースクール開催～仏讀、花まつり、法話、クラフト(念珠作り・消しゴムハンコ・式章作り)
 - 組でほとけの子のつどい開催～おつとめ・法話・本堂内でゲーム遊び・ふりりん作り
 - 【その他】
 - 組で児童念仏奉仕団・本願寺DAYSへの参加
- 寺院で**
- 【法要】
 - 初参式(仏婦主催)～お参り、焼香、法話、記念品
 - 報恩講に合わせて初参式を行っている
 - 初参式、入学奉告法要
 - 盆会終了後、親子の集いを開催。手伝いとして仏婦、仏士の共催の為、家中の参加
 - 降誕会法要の案内の自動車パレード10台、仏旗のかざり
 - 法事、報恩講などの仏事へは子どもさんもお参りされるよう「寺報」などですすめている。子どもがお参りの時は、その取り組みを褒めて子どもにも分かる法話を心がけている。除夜会へ子どもさんのお参りを勧めお菓子や「ポテポテ茶」を振る舞う(好評です)
 - 報恩講のお斎のお給仕を小学生にってもらう。5～6名参加。その後お斎を一緒にいただく
- 【日常の法務】
 - 祥月命日として門徒宅へ伺った時、子どもが参席していれば一緒に動

- 行し、法話をアニメや漫画を交えて行っている
- 法事でお焼香作法を教える
- 子どもにもわかりやすい法話を心がけている
- 法事に子どもが参拝の時、年齢にあわせて勤行、法話
- 除夜会の茶話会を通じ、子ども・若者と寺との懇親を図り、お互いのご縁づくりに努力している
- 仏事にできるだけ子どもさん方が参加してもらうよう呼び掛けている。その時には果物や菓子等を持って行く
- 【行事・イベント】
 - 一泊子ども会(京都女子大生2名補助)開催
 - 児童クラブの子どもの集い開催
 - 小学校6年生の親子を集めて法話
 - 竹を切り出してそうめん流しを寺の境内で行う
 - 仏婦総会(4月上旬)に合わせて入学児童お祝いの会を開催。門徒全家庭の新年生へ案内を出し招待。住職より念珠と合掌人形を贈呈し、焼香の作法・法話の後、食事会
 - 小中学校「入学、卒業、進級」お祝い会、初参式(兼仏婦総会)夏休み子ども会
 - 花まつり～白象パレード・そうめん流し・人形劇・お菓子取りゲーム
 - お寺の集い～重誓偈・法話(住職)・ゲーム(輪投げによるお菓子取り)・流しそうめん(境内にて)
 - 親子の集い(子ども報恩講)～お参り・お話し・ゲーム・紙芝居・綱引き等
 - 仏教会と連携し、花まつりを実施
 - 町内の子ども対象のサマースクールの一環として、お寺で「きもだめし」を実施
 - 夏休み中におおさじを実施(ラジオ体操、おつとめ、創作活動)
 - 日校卒業生を送る会(若婦主催)を開催
 - 【その他】
 - 子ども食堂(年6回)開催
 - 認定子ども園を併設。食前食後のことばを毎日言っている
 - 機会を見つけて三点セット(聖典、念珠、式章)の使用、着用を薦めている
 - 食事のことばをカード立てに入れて配布、「一日一度は家族そろって参

若者への取組み① ～キッズサンガの展開形として

- 組で**
- 若者を集めて組内のお寺を訪問し、その住職にお話しを聞かせていただく。コンサートを実施(スタッフに若者の協力を得る)
- 夏休みに合わせての開催。女子大生のレク、日常勤行、作法、夕食作り、銭湯、きもだめし、念珠作り等を通して仏事や寺に親しむご縁とする
- 毎週の日曜学校、サマースクール
- 寺院で**
- 中・高校生対象の「お寺で忘年会」
- 祥月命日として、門徒宅へ伺った時、若者(20代)が参席していれば仏教に対するイメージやその人の勤務内容、苦悩、喜びを聞くようにしている。また、会話内容を断片的だが記録し、次に繋ぐようにしている
- 地域の行事や活動に寺が積極的に参加し、つながりを作っている
- 毎年成人の日に、仏婦より門徒全家庭の新成人の方へ、お念珠・数珠の贈呈
- 寄席、ミニコンサート
- 夏祭り、除夜会、子ども一泊研修、研修旅行、盆踊り
- 若者との対話を大切に(法事、法要時)
- 日校親の会(若い夫婦)に呼びかけ寺院との関わりを持つよう働きかける。総代、仏青壮、仏婦等の各教化団体共催の合同仏参「お楽しみ会」の継続に努力
- 若者から教養について質問されることもあり、教養や真宗史について話し合うこともある。(年忌法要の中で)
- 4月8日に子ども会の花まつりと併せてメリジャカ、パーベキュー大会をして大人から子どもまで集まった

- 地域若者(大学生など)をリーダーとして集団生活の体験会を開催
- 若者に仏教の魅力を伝えられるような法話、雰囲気づくりを心がけた
- 中学校卒業生を送る会(仏婦主催)
- 「数珠抄」進呈(成人祝)、夫婦念珠、結婚記念冊子進呈(結婚祝)
- 9月下旬のお月見会にはミニコンサート。若者の参加も多い。必ず合掌・礼拝で始める

若者への取組み② ～ご縁のなかった若者への取組み(ご縁のない若者層や生きづらさを抱えている方への取組み)

- 降誕会にて成人祝を行っている
- 元有名バンドのプロミュージシャンを招き、お寺で太鼓をたたきイベントを行った。初めてお寺に来る人ばかりだった
- 電話やメールによる悩み相談を年間4件行った
- いつでも門戸をひらき、どんな相談にも乗っている

自由回答

- 子どもの参加を得ることが年々難しくなっています。お寺でも子どもが行きたくなる仕組みを考えることも必要だと思います。一部の寺院ですが、児童用図書がたくさん準備している所や、輪投げなど子どもが遊べる環境を作っているところもあります
- クラフトで作った念珠や式章をその後の各仏事で子ども達が着目している姿があり、行事後の仏縁にも繋がりました
- 子どもたちのスケジュールが過密になっており、行事開催日が組みにくくなっている。少人数を対象とし、数回にわたって実施したり、時期をとり対策をとらなければならない。また、スタッフについても多くの人数で対応した方がいい
- 昔サマースクールに参加した子どもが親となり、その子がスクールに参加した。また、学校でスクールが話題となったのか、前回参加者の友人、兄

- 弟が新しく参加し、毎年盛況である。日校卒業生に手伝ってほしいが県外へ移っている人が多く残念である。1泊2日を寺で過ごし、焼香作法・食前食後の言葉を覚え阿彌陀さまの事を知ってくれている様に思う
- 少子化で子どもの所在の把握がむずかしい
- 門徒との親密な交流を日常において図る必要が大切である
- 若者とのご縁が少なく、殆んど活動は出来ませんでした。今後は法座等(彼岸会・元旦会)への声掛けを積極的にしていくつもりです
- 盆会終了後、親子の集いとして手伝いとして仏婦、仏士、三代の共催の為、家中の参加。親子で参加いただいているので、手伝っていただけて良いご縁になっています
- 参加の子ども達はお寺を「敷居の高いところ」という意識を持たず、のびのびと活動できた
- サマースクールが小学生低学年の参加が多い為、親御さんの参加はあるが若い方の参加に至っていない。本年度(30年度)は若い方にスタッフとして参画してもらう計画を進めています
- 毎年のご縁づくりの計画を進めています。本年のサマースクールは中・高校生が参加してくれました。一泊二日です
- まずは出来ることから始めよう。若者のご縁づくりは無理にしない方がいいと思う(町内にはいない)
- 子どもと共に参加できる行事が効果的。若者だけでは参加できないと感じる
- ひな形を取り入れていなかったの、中身がぼんやりする活動になってしまった事を反省している。実施に当たっては目的を明確に定めてから行いたい
- ただお寺を借り手の行事に終わらないよう、始めと終わりは合掌・礼拝にて仏事であることを意識づけることが大切。短い法話を用意することが必要。気楽に参加していただくことが大事だが、敬いの心を大切にしよう皆で気を付けなければならない

キッズサンガサポーター研修会 アンケートより抜粋

①今日のご講師のお話はいかがでしたか？

- 子ども食堂は貧困対策としてよりも、食事会として開く方が定着するとのお話は大変参考になりました。
- マイノリティーについて接し方など体験などを含めてお話し頂き大変分かりやすかったです。
- 興味深い内容でした。刺激になり、良かった。
- 初めて参加させてもらい、始めはどのような話をされるのか(固い話)と思いましたが、子ども達からお寺がどう見えるか。また、どのような悩みを抱えているかが分かりました。
- 大変な熱量に大きな刺激を受けました。分かりやすく気づきの多いご講義でした。
- 自分の立場(僧侶、地域人、役職任務など...)の中ですべてに関わることであり、自らを振り返り反省することも多々あった。

②講義・分散会を通して、どんな感想を持たれましたか？

- 中高生にはその人その人で違いはあるが、相談しやすいようにする。漏らさない・叱らない・騒がない、そのことが大切だとわかりました。
- 分散会では、新しく知った事については深めにくい。
- 中高生がちょっとしたことで相談できる環境をつくってあげたいと思いました。
- 真宗の中にこの視点、考え方を持った方がおられて少し安心しました。意識を持ち続けていこうと思います。
- 若者への接し方など勉強になった。相談してもらえ人になるのは難しい。
- 気楽に考えることができた(子ども、若者ご縁づくりはハードル高い)
- もっと多くの人と考える時間があってもいいかもしれない。
- 話し合いはテーマが欲しいです。
- 様々な意見が聞けて良かったです。

③子どもや若者に対して、組内で取り組んでおられることはありますか？

- 子どもの集いにスタッフとして参加しています。
- かつて子どもキャンプの様な活動を行っていましたが、少子化の影響もあり今現在は子どもや若者に対しての活動は花まつりのみとなっています。
- 子ども会、児童念仏
- 特になし。
- 各寺院で日曜学校、キッズサンガなど...
- 夏休みの小学生の子ども会(幼児も含む)
- 組としてはないです。

④子どもや若者に対して、これから取り組んでみたいことはありますか？

- 子どもの貧困対策への取り組みについて
- 今取り組んでいることを継続したい。
- 中高生が訪ねて来やすい寺活動をしていきたい。
- 中高生への対応を構えずに素で対応してみる。
- 今はわからない。
- 生死について素直に伝えていきたい。
- 若者の相談を受ける。子どもについての啓発活動。
- 本堂の提供。
- 悩み、困りごとへのサポート
- 気持ちはありますが。

⑤その他、お気づきのことがございましたらご記入ください。

- 有難うございました。新しい気付きを頂きました。
- もっと沢山の方に今日の研修会を聞いて頂けたらと思っていました。

マネージャーコラム

子ども・若者ご縁づくり教区マネージャー・事務担当者研修会に参加して

「子ども・若者ご縁づくり」教区マネージャー 上杉 信成

11月19・20日にご本山で、「子ども・若者ご縁づくり教区マネージャー・事務担当者研修会及び中央連絡協議会」が開催され、山陰教区より、教区マネージャー3名、事務担当1名が参加をいたしました。

当会は、子ども・若者ご縁づくり推進室設置後、本年度5年の節目を迎えることから、新たに委託された全教区マネージャーを対象として、二期四年間の成果と課題等の結果を踏まえ、これからの「子ども・若者ご縁づくり」のねらい・目的を共通認識し、そのための組織体制強化の推進とともに教区ごとの今後の方向性や支援方法を協議することを趣旨に、「ご縁づくりのこれまで、そしてこれから」をテーマに行われました。

まず、講義におきまして「念仏者の生き方について」と「宗門重点プロジェクトの実践目標について」のお話があり、子ども・若者ご縁づくりの推進が実践運動の一環であること、そして、設置の目的が宗門長期振興計画の重点項目として推進される「次世代を担う『人』の育成」キッズサンガが推進され、その成果をふまえて総括のもと、子ども・若者を対象とした「ご縁づくり」の企画推進及びその

活動支援を宗とした、さらなる重点的かつ継続的な推進展開を図り、宗門の目的を達成に資するためであることを再確認致しました。

また、推進室室長及び各部会担当者より、四年間の総括を含む、2019年度活動方針・事業計画案について話され、現代版寺子屋スクールナーランダの実施や思春期・若者支援コーディネーター養成研修会を開催するなど今までの宗門では容認されなかった企画が実施され、一定の成果をあげており、今後も継続と更なる推進を目指し活動していくことを示されました。

ブロック別協議会では、各教区の悩み・各地域の特徴・今後に向けての意見交換が行われ、共通の悩みが多く、対策や企画等のアドバイスをいただき、教区の推進へプラスとなる学びをいただき、それを活かしながらマネージャー・サポーターと共にご縁づくりしていきたいと思っております。



山陰教区子ども・若者ご縁づくり「しおり」について

昨年、山陰教区子ども・若者ご縁づくりの推進活動の一環として発行しました教化資料「しおり」が、各地でご好評いただいております。組の行事やご寺院でのご活用が多いですが、他教区の研修会で大量にお配りいただいた事例もあります。

当初印刷した部数がなくなりましたので、今年度増刷をいたしました。さらにたくさんの方に使っていただくため、教区仏教婦人会連盟総会・仏教壮年会連盟総会や宗派の中央連絡協議会など、各行事で教区マネージャーを中心にPRを続けています。

しおりに印刷しているQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むことで、親子で仕事について学ぶことができる教材です。

1セット5枚入り100円で頒布いたしております。ご希望の方は、山陰教区教務所宛に郵送またはFAXにてお申し込みください。

※発送は運賃着払いとさせていただきます(但し、200セット以上のお申込みの場合、送料は当方が負担いたします)



山陰教区子ども・若者ご縁づくりサポーター（キッズサンガサポーター）名簿

No.	氏名	組名	所属寺	組での役職	No.	氏名	組名	所属寺	組での役職	No.	氏名	組名	所属寺	組での役職
1	衣笠千秋	鳥取因幡	願正寺	青少年部責任者	20	大草顕信	大田東	常見寺		39	服部法子	邑智西	善教寺	実践委員
2	片上義弘	鳥取因幡	浄宗寺	連研委員	21	菅原敦樹	大田東	専念寺		40	伊東ゆう子	邑智西	西念寺	
3	藤谷亨生	鳥取因幡	光専寺	連研委員	22	小笠原芳秀	大田東	法専寺		41	富金原真慈	江津	蓮敬寺	実践運動教区委員
4	山名浩平	鳥取因幡	養源寺	連研委員	23	岡崎隆徳	大田東	西善寺		42	三浦誠	江津	正福寺	キッズ若者担当
5	兜坂彰英	鳥取伯耆	妙寂寺	実践委員	24	藤本昭文	大田中	浄円寺	実践委員	43	熊谷朋栄	江津	西方寺	寺婦会計
6	妙泉司	鳥取伯耆	善正寺	副組長	25	中村英晴	大田中	長泉寺	子ども・若者ご縁づくり部会委員	44	河村敏恵	江津	円勝寺	仏教婦人会副委員長
7	前田努	鳥取伯耆	善證寺		26	西本浩然	大田中	西本寺	子ども・若者ご縁づくり部会委員	45	渡利年信	江津	円勝寺	
8	舟谷幸男	松江	勝願寺	実践委員	27	菅原昭生	大田西	西楽寺	実践委員	46	岡本章夫	江津	西教寺	門推事務・会計
9	吉田剛	松江	眞光寺		28	荒本由未	大田西	西臨寺	連研・門推部長	47	服部浩明	浜田	清岸寺	実践委員
10	籠順子	松江	順光寺		29	西原真公	佐波	浄土寺	教化団体部長	48	大原孝見	浜田	眞光寺	
11	柳樂由乗	出雲	龍善寺	実践委員	30	西原慎治	佐波	明光寺		49	市野覚生	浜田	覚永寺	
12	鱈南千城	出雲	東林寺		31	大草眞教	佐波	法光寺	実践委員	50	紀真	三隅	勝龍寺	副組長
13	三浦寛信	神門	長泉寺	副組長、実践委員	32	源宏導	佐波	西蓮寺		51	佐々木かおり	三隅	明願寺	青少年担当
14	藤原めぐみ	神門	正善寺		33	福井行信	川本	福常坊		52	佐々木智臣	益田	光雲坊	組織・伝道部長
15	楠縁人	出雲南	善徳寺	副組長	34	吉本悠真	川本	光楽寺		53	佐々木義誓	益田	興順寺	教区会議員
16	蘿裕章	出雲南	善福寺	副組長、実践委員	35	池永義将	千須賀	照立寺	会計、仏の子ども担当	54	須山成顕	鹿足	正法寺	実践委員、伝道部部長
17	高橋浩文	飯南	福蔵坊	実践委員	36	花岡美耶子	千須賀	西念寺	仏の子ども担当	55	岡崎正興	鹿足	桂正寺	組織部部長
18	源彰弘	飯南	西蔵寺	副組長	37	俵郁也	邑智東	圓浄坊	研修委員					
19	吉川光城	飯南	眞向寺	研修講師、仏婦担当	38	小笠原宣隆	邑智東	西福寺	実践委員					

任期：2018年4月1日～2020年3月31日

山陰教区キッズサンガホームページ開設! <https://kids-sangha.saninkyoku.net>

各寺院のキッズサンガの事例紹介などを掲載しています。